

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
データベース論 (教職関連科目 必 高等学校 情報)	～218	2年生・前期	2単位	選択	橋爪 善光	
履修の前提条件	「情報学入門」を合格していること。					
授業概要 (Course Outline)						
データベースの概要を学ぶ。データベースとしては現在最も広範囲に使用されているリレーショナルデータベースを中心にデータベースの設計方法、アクセス方法を演習を通じて身につける。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	問題解決力 Problem Solving					○
	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
市民としての社会的責任 Social Responsibility						
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
自分でデータベースを作成し、アクセスすることができるようになる。						
事前学習の内容	前週授業時に行った課題・宿題およびPCのセットアップや動作確認をしておいてください。					
事後学習の内容	教科書の章末練習問題により授業中に行った実習の知識を定着させてください。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
毎回各自のPCで、実際に手を動かしてデータベースへの操作をしてください。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせ、相談などは研究室(361)にて受け付けます。オフィスアワーの時間については掲示を確認してください。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
必ずパソコンを持参する事。 学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	ガイダンス、Xamppのインストール		
第2回	Xamppの動作確認		
第3回	phpmyadmin上でのデータの挿入		
第4回	エクセルデータからのデータのインポート		
第5回	データの修正		
第6回	データの削除		
第7回	データの抽出条件による参照		
第8回	phpプログラムを利用したデータの挿入		
第9回	phpプログラムを利用したデータの参照		
第10回	phpプログラムを利用したデータの抽出条件による参照		
第11回	データベースの設計、正規化による整理方法		
第12回	複数の表の結合によるデータ参照		
第13回	実技試験1		
第14回	実技試験2		
第15回	定期試験		
第16回	総合演習と復習		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
データベースの基礎	永田武	コロナ社	978-4339024562
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
標準MySQL	田中ナルミ/阿部忠光	ソフトバンククリエイティブ	978-4797339550
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
実技試験60%、定期試験40%			